

研究課題名 「先天性胆道拡張症において術前画像検査の検討による術中所見の予想と術式への応用に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2013年1月から2021年8月までに当院で先天性胆道拡張症に対して胆道拡張症根治術を施行した患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的 先天性胆道拡張症は、術後胆管結石や吻合部狭窄を起こすことがあります。回復することで入退院を繰り返し、患者さんのQOLの低下に繋がります。術前画像評価によって狭窄部位を適切に診断して治療につなげることで、術後の合併症低下につながるかを評価することを目的とします。

方法 2013年1月から2021年8月までに当院で先天性胆道拡張症に対して、胆道拡張症手術を行った患者の術中術後経過および予後について、診療記録より後方視的に検討します。基礎疾患や患者背景、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、輸血量、麻酔等）、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後について診療録より抜粋し、検討します。

研究期間

実施承認日から2023年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 住田 亙

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980